



第38回野方ふれあいふるさとまつり

8月26日(土)

4年ぶりに開催された「野方ふれあいふるさとまつり」。これまで10月に開催していましたが、子どもたちの夏休みの思い出になってほしいと、今年は8月に開催されました。

また、「子ども神輿^{みこし}」が約40年ぶりに復活し、野方小学校の児童が神輿を交代で担ぎながら、祭り会場周辺や商店街をパレードしました。「わっしょい」と元気なパレードに、地域は笑顔で包まれていました。

会場となった野方分館運動場には特設ステージが設けられ、野方保育園の園児によるダンスや、野方地域の方による空手、カラオケ、フラダンスなどが披露され、祭りを彩りました。惣菜、カレーライス、イカ焼き、子ども向けのゲームなどの出店が立ち並び、親子連れで楽しんでいました。

祭りの最後には、音楽に合わせて約1,700発のミュージック花火が打ち上がり、大迫力の花火が来場者を魅了しました。

大好きな野方を想い、製作。地域の活力になれば…

分館の会議で、今年神輿を復活させようという話になり、これまでに製作したことがなかった神輿づくりにチャレンジする機会をもらいました。

昔の神輿を見たことがなかったので、調べたり、照日神社に行って鳥居や建物の作りを観察したりしました。地元の祭りなので、コストを抑えた材料にして、野方がたくさん詰まったデザインにしています。児童が8名で担げるよう、特に、重さに注意を払いました。

^{わらびで} 蕨手部分は、まず木材で作り、その上に鉄板をはめたのですが、そこが一番難しかったです。上手いかわからない部分もあり、やり直しなどをして約3か月で完成させました。子どもたちに楽しんで担いでもらえたら嬉しいです。



後迫 純昭さん(70)

退職後に、以前からやっていた木工を63歳で始めた。これまでに、椅子や棚、パーベキューテーブル、看板、表札などを受注製作。

こだわり抜いた、木製神輿^{みこし}



【高さ】 約1メートル(馬台は含まない)

【幅】 約60センチメートル

【重さ】 約30キログラム(担ぎ棒含む)

